

さんまい ふだ
三枚のお札
ー

むかしむかしのことです。ある山寺に、やまでらとんでもなくやんちやな小僧こぞうがいました。

いつも、やんちやのやりほうだいで、おしyouさまの言いうことなど、まったく聞ききません。

朝夕あさゆうのおつとめあさ ゆうがた（朝と夕方にお経きようをあげること）では、いねむりをします。庭にわそうじでは、火ひあそびをします。ぶつだんのおそなえは、ぬすみ食ぐいをします。もう、手てがつけられません。

そんな山寺やまでらにも、秋あきがやってきました。うら山やまの「①」
が美うつくしい赤色あかいろにそまります。そして、秋あきといえは、くりの実みです。小僧こぞうはくりひろいに行いきたくて、たまらなくなりました。
「おしyouさま。おいら、くりひろいに行いきてえだ。」

問ー ① 秋あきがやってきて、美うつくし

い赤色あかいろにそまるのは、なんですか。

「①」に入いることはをえらびましよう。

ア りんご

イ ほっぺ

ウ かみのけ

エ もみじ

「
」

「だめじゃ、だめじゃ。あの山には、おっかねえやまんばが、
いるだが、おまえさんなど、ひと口に食われてしまうわい。」
「やまんばなんぞ、いるもんか！　くりひろい行きてえ。くり
ひろい行きてえだあ！」

小僧がこんなふうに言い出すと、とまりません。
おしようさまは、

「こういうやんちゃぼうずは、いっぺんこわい目にあつたほう
が、いいかもしれない。」

と思い、小僧をくりひろいに行かせてやることにしました。

おしようさまは、出かける小僧をよびとめて、三枚のお札を
わたしました。

「よいか。かならず日ぐれ前に、もどってくるのじゃぞ。それ
と、これはお守りのお札じゃ。こまったときは、これをつかう

問2 秋がやってきて、小僧は、何をし

たいとおしようさまに言いましたか。

ア 山へキャンプに行きたい

イ 山へようかいたいじに行きたい。

ウ 山へくりひろいに行きたい。

エ やまんばとおどりたい。

「
」

「がよい。」

こぞう

ふだ

小僧は、お札をうけとると、せなかに大きなかごをせおって、

やま

ばやし

うら山のくり林におけてしゅっぱつしました。

問3

こぞう

ふだ

小僧にお札をわたすとき、おしよ

こぞう

うさまは、小僧にどんなことをちゅうい

しましたか。

ア

ひ

まえ

かならず日杣前に、もどってくる

こと。

イヤまんばにあったら、あっかんべー

をすること。

ウ

ひ

かならず日がくってから、もどって

くること。

「」